

Inspiration Camp in Aomori 2025

第13回 未来ひらめき創造塾

実施レポート

青森県 交通・地域社会部 地域交通・連携課

開催概要

【目的】

青森県内の中学生を対象に、他の誰も考えないような奇抜な発想や直感を自らの内に探り・育てる体験を通して、無から新しいものを創り出すことの大切さや、創造力を発揮して未来を切り拓いていくことの楽しさを学ぶ。

【参加者】

青森県内の中学生 29名
(男女別内訳 男子17名、女子12名)
(学年別内訳 3年生5名、2年生8名、1年生16名)

【開催日時】

令和7年7月27日(日)～30日(水)

【会場】

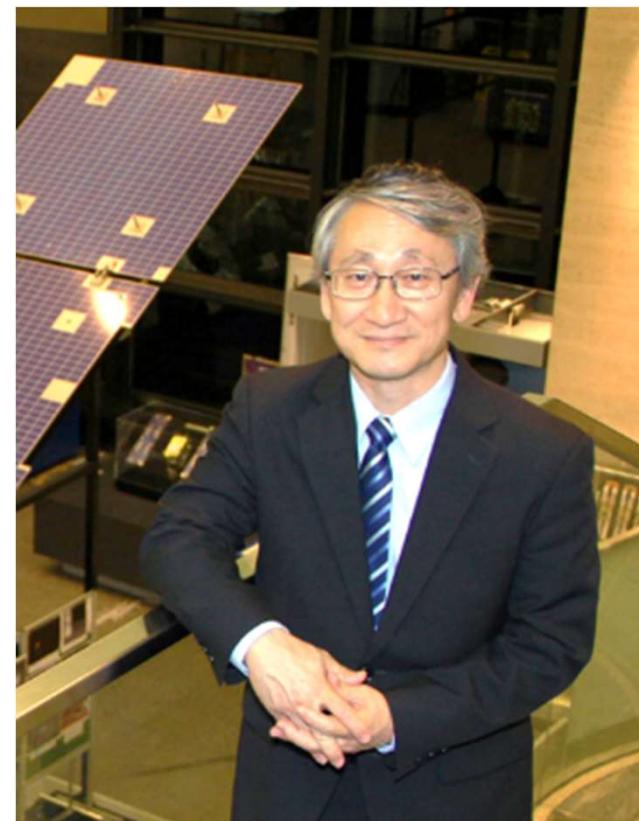
アピオあおもり(青森市中央3-17-1)
青森県観光物産館アスパム(青森県青森市安方1丁目1-40)
新町キューブ(青森市新町2-6-25)
マエダアリーナ合宿所(青森市宮田高瀬22-2)※宿泊
青森公立大学国際交流ハウス(青森市合子沢山崎153-4)※宿泊

【参加費】

15,000円(宿泊費、食費、保険料など)

【塾長】

オーストラリア国立大学教授・元宇宙航空研究開発機構(JAXA)
「はやぶさ」プロジェクトマネージャ 川口 淳一郎 氏



<プロフィール>

弘前市出身。宇宙工学者、工学博士。1978年、京都大学工学部卒業後、東京大学大学院工学系研究科航空学専攻博士課程を修了し、旧文部省宇宙科学研究所に助手として着任、2000年に教授に就任。2007年4月から2011年9月まで、月惑星探査プログラムグループプログラムディレクタ(JSPEC/JAXA)、1996年から2011年9月まで、「はやぶさ」プロジェクトマネージャを務めたほか、ハレー彗星探査機「さきがけ」、工学実験衛星「ひてん」、火星探査機「のぞみ」などのミッションに携わった。国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所(ISAS/JAXA)宇宙飛翔工学研究系教授、2011年8月よりシニアフェローを務め、2021年3月JAXA退官。現在はオーストラリア国立大学教授。

全体カリキュラム

Inspiration Camp in Aomori 2025 (第13回未来ひらめき創造塾) カリキュラム

		7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	22:30			
1	7/27 (日)							受付	開塾式 12:30-13:10	準備	ウォーミングアップ 13:15-14:15	休憩	■チャレンジプロジェクト1 ＜新しい塔・飛行機づくり＞ 14:25-16:45		バス移動 16:45-17:20	チェックイン	夕食・休憩 17:40-19:00 ※夕食は18:00～	政党(仲間)づくり 政策づくり 18:30-20:00	MTG 20:00-20:30	入浴 自由時間	消灯・就寝
		アピオあおもり										マエダアリーナ合宿所									
2	7/28 (月)	起床	朝食・部屋清掃	バス移動 8:20-9:00	準備	◇塾生と講師のひらめきゼミナール1 (グローバル編) "Pun, anyone? Fun, everyone" 9:30-12:30			昼食・休憩(弁当) 12:30-13:30	川口塾長講話 13:30-14:30	準備	政策づくり・中間発表 14:40-16:45	バス移動 16:45-17:20	夕食・休憩 17:20-19:00 ※夕食は18:00～	ディベート編 事前準備 18:30-20:00	MTG 20:00-20:30	入浴 自由時間	消灯・就寝			
		マエダアリーナ合宿所			アピオあおもり										マエダアリーナ合宿所						
3	7/29 (火)	起床	朝食・部屋清掃	バス移動 8:20-9:00	準備	◇塾生と講師のひらめきゼミナール2 (ディベート編) 未来の時間割を作ろう 9:30-12:30			昼食・休憩(弁当) 12:30-13:30	■チャレンジプロジェクト2 (フィールドワーク準備・事前プレゼン) 13:30-16:30		バス移動 16:30-17:20	チェックイン	夕食・休憩 17:30-18:30	フィールドワーク 最終準備 18:30-20:00	MTG 20:00-20:30	入浴 自由時間	消灯・就寝			
		マエダアリーナ合宿所			青森県観光物産館アスパム										国際交流ハウス						
4	7/30 (水)	起床	朝食・部屋清掃	バス移動 8:20-9:00	準備	■チャレンジプロジェクト2 (フィールドワーク) 私たちが考える、青森の新品！ 9:30-12:00			成果報告 12:30-13:00	閉塾式 13:00											
		国際交流ハウス			青森駅・ベイエリア周辺			新町キューブ													

会場位置図



1

開塾式・1日目・2日目
アピオあおもり
(青森市中央3-17-1)

2

3日目
青森県観光物産館アスパム
(青森県青森市安方1丁目1-40)

3

4日目・閉塾式
新町キューブ
(青森市新町2-6-25)

4

宿泊施設(1日目・2日目)
マエダアリーナ合宿所
(青森市宮田高瀬2-2-2)

5

宿泊施設(3日目)
青森公立大学国際交流ハウス
(青森市合子沢山崎1-5-4)

【1日目】 7月27日(日)12:30~13:10

【出席者】

塾生29名

塾生の保護者

川口塾長

金沢地域交通・連携課長



【場所】

アピオあおもり イベントホール

【次第】

開会

塾生自己紹介

川口塾長あいさつ

記念写真撮影



ウォーミングアップ

【1日目】7月27日(日)13:15~14:15

【趣旨】

居住する地域や学校規模の異なる中学生が集まることから、緊張感を解きほぐすことを第一に考え、3つのゲームを行う。ゲームを通して、緊張を解きほぐすことで心の壁を取り払い、以降のプログラムへの導入を円滑に行う。

【場所】アピオあおもり イベントホール

【内容】

(1) リラックスタイム(最大数当てゲーム)

- ・個人戦で実施
- ・誰も選んでいない最も大きな数字を書いた人が勝ち

(2) コミュニケーションタイム①(サイレントバースデーゲーム)

- ・2グループに分けて実施(1~15、16~29)
- ・言葉を発せず、4月1日~3月31日の順に並ぶ
- ・制限時間内に正しく並んでいたチームが勝ち

(3) コミュニケーションタイム②(ワードウルフ)

- ・6グループに分けて実施(2回)
- ・各グループ1人だけ違う内容のカードを持ち、少数派がノビなければ少数派の勝ち、そうでなければ多数派の勝ち。

【塾生の声】

- ◆コミュニケーションのきっかけとなり、友達になることができた。
- ◆勇気を出して話しかけ、そこから会話が弾み、以後の日程では円滑にコミュニケーションをとることができるようになった。



チャレンジプロジェクト1 <新しい塔・飛行機づくり>

【1日目】7月27日(日)14:25~16:30

【趣旨】

指定された材料のみを用いて創造性を養い、他者の意見を受け入れながら協働する

【場所】アピオあおもり イベントホール

【条件】

(1) 塔づくり(マシュマロチャレンジ)

パスタ・ひも・マスキングテープのみを使用し、いかに高い位置にマシュマロを設置できるかを競う。

(2) 飛行機づくり

A4コピー用紙と粘土を使用して紙飛行機を作成し、飛距離を競う。

【スケジュール】

課題説明

塔づくり(2回)

飛行機づくり(2回)

表彰(5分)

※それぞれの順位をポイント化し、ポイントの和で最優秀チームを決定

【塾生の声】

◆他の人の意見や考えを聞き、塔を高く丈夫にすることができた。

◆人の意見や考えを取り入れることによって自分だけでは思いつかない方法が生まれたり実現できるという事が分かった。



塾生と講師のひらめきゼミナール<グローバル編>

【2日目】7月28日(月) 9:30~12:30

【趣旨】

英語と創造力、世界への好奇心を全身で体験することで、楽しみながらひらめきと挑戦する力を育てることや、お互いの違いを「壁」ではなく、「面白さ」して受け入れる視点を養い、多様な文化を柔軟に受け入れる力を育てることを目的とする。

【場所】アピオあおもり イベントホール

【講師】

市民による国際協力実行委員会 菊池 昌子 氏
 (一社)青森市国際交流協会 斎藤 誠子 氏
 青森中央学院大学国際交流課 金川 利江子 氏
 風晴 彩雅 氏

ゲストティーチャー(10名)

【内容】

テーマ:Pun, anyone? Fun, everyone

- (1) スカベンジャーハント他(60分)
- (2) バルーンバ国とゲストティーチャーの文化を探れ!(100分)
- (3) 塾長講評(10分)

【塾生の声】

- ◆英語が苦手で謎解きに苦労したが、仲間と知恵を出し合ったり、ゲストティーチャーへ勇気を出して話しかけヒントをもらったりしながら回答できた時の達成感は大きいものであった。
- ◆他国の文化や考え方を知らない、コミュニケーションを取るときに誤解が生まれるということが分かった。
- ◆文化の違いを壁ではなく、面白いと捉えられるようになってほしいという言葉が心に響いた。



【2日目】7月28日(月) 13:30~14:30

【趣旨】

川口塾長の講話を通して、塾生がこの塾の趣旨を再確認するとともに、塾長との交流を図る。

【場所】アピオあおもりイベントホール

【内容】

- (1) 川口塾長からの講話(50分)
- (2) 感想・質問タイム(10分)

【塾生の声】

- ◆これからの自分がすべきことが少しわかったように感じた。
- ◆物事を減点式ではなく、加点式で見るということが特に印象に残った。
- ◆もともと宇宙に関心があり、興味を惹かれる話ばかりで、大変勉強になった。



【1～3日目】 7月27日(日)～29日(火)

【趣旨】

各人の主張、同類の考えを持つ者同士の仲間づくり、意見交換を行うことで、合意形成に向けた過程を体験し、立案能力・合意形成力を養う。

【場所】 青森県観光物産館アスパム 5階 あすなろ(本番)

【内容】

テーマ: 未来の時間割を作ろう、これからの学校に必要なこと

7/27 仲間づくり、政策づくり

7/28 中間発表、事前準備

7/29 ディベート編本番

【塾生の声】

- ◆自分の意見を伝え、みんなで考えるとより良いものができるということがわかった。
- ◆他のグループの発表を聞くことで、自分たちの意見を客観視することができ、改善点を考えることができた。
- ◆ディベートを通して、物事の進め方を学ぶことができた。
- ◆自分たちの意見と相手の意見の相違点などについて理解し、相手の意見を取り入れることでより良い答えを導くことができた。



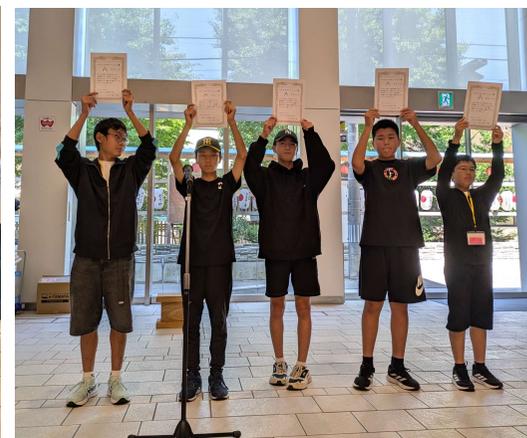
チャレンジプロジェクト3 <フィールドワーク> 【4日目】7月29日(火)~30日(水)

【趣旨】

「私たちが考える青森の新品！」をテーマとして、県民・観光客等の興味・関心を沸かせる方策検討とその準備を協働し進める。

【内容】

青森駅前またはベイエリアで、考案した青森に関する新品のアイデアをスライドにまとめ、県民・観光客に対するプレゼンテーションを行うフィールドワークを実施する。県民・観光客が、プレゼンした内容の評価をポイント化し、シールの枚数等で順位を競う。



【塾生の声】

- ◆チーム内のアイデア出しでは意見が割れ、一人ひとりがしっかりと自分の意見を持っているのだと感じた。
- ◆他のチームのアイデアもユニークで斬新なものがたくさんあり、おもしろさを感じた。
- ◆外国人観光客にプレゼンした際、わからない単語があったが、チームの仲間がわからないながらもコミュニケーションをとって、コミュニケーション能力の高さを羨ましいと感じた。
- ◆1からアイデアを出し合い、まとめたものを評価してもらい、好評を得た際には感動を覚えた。
- ◆自分たちが考えたアイデアを発表することは、始めは自信がなかったが、評価してもらえた時の達成感はとても大きかった。
- ◆外国人の方にプレゼンする際、英語力が足りず、ジェスチャーを加えて伝えることができた。相手方の優しさも感じた。
- ◆プレゼン相手から改善点に関する意見をもらうこともあり、人との交流、意見を聞くことの重要性を改めて認識した。
- ◆フィールドワーク本番では多くの人に断られたが、親身に聞いてくれる人やアドバイスをくれる人も多くいて、うれしかった。

【4日目】7月30日(水) 12:30~13:00

【出席者】

塾生
塾生の保護者
川口塾長

【場所】新町キューブ グランパレ

【次第】

開式
修了証交付
MVPアワードの贈呈
川口塾長あいさつ
記念写真撮影

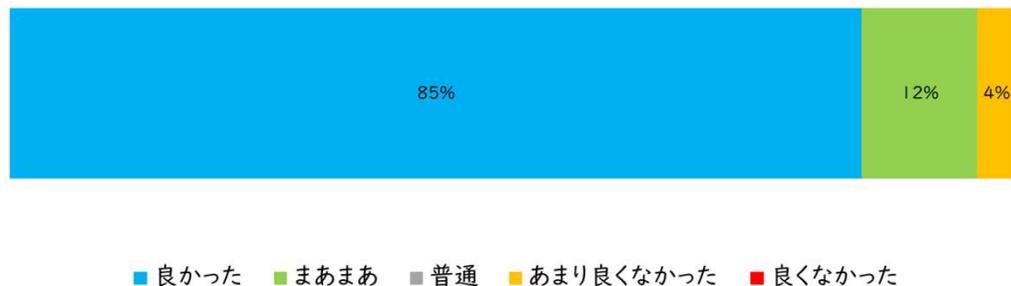


宿泊施設等での様子 (マエダアリーナ合宿所・青森公立大学国際交流ハウス)

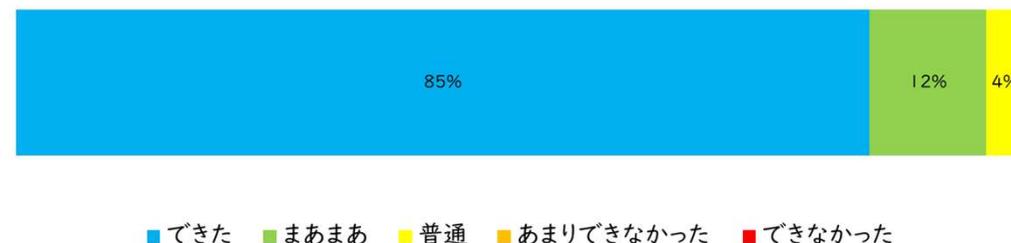


塾生の感想 (事後アンケートより)

有意義な塾でしたか？



塾生同士で交流できましたか？



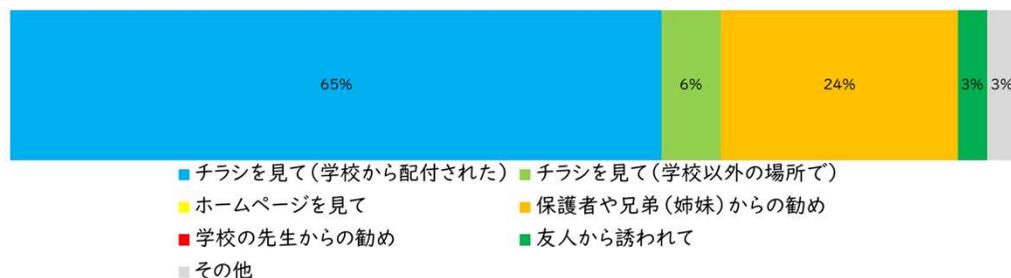
会場はいかがでしたか？



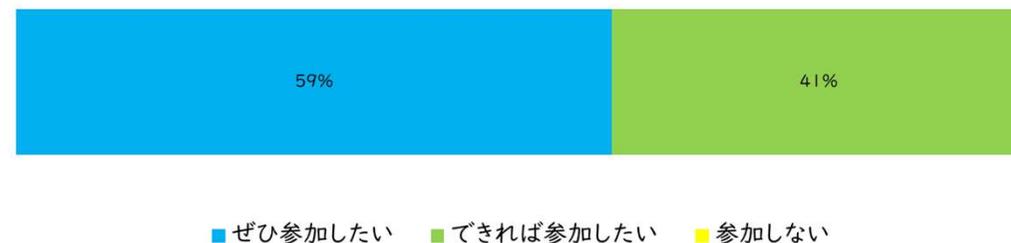
宿泊施設はいかがでしたか？



この塾を知るきっかけは何でしたか？(複数回答可)



来年度も参加したいですか？
(1,2年のみ)



保護者の感想①（事後アンケートより一部抜粋）

- 各プログラムを体験することで自分で考え行動するという意識が強くなってきたと感じました。また、様々な地域の方とも交流が深まり、良い刺激になったと思います。ありがとうございました。
- 仲間と同じ時間を過ごし、仲間の姿をみながら、感じたこと、考えたことは言葉にし行動した方がいいのだと感じて帰って来たようです。また、塾以降は世の中のできごとに（ニュース等）興味を持つようになった気がしています。貴重な機会を与えて下さりありがとうございました。
- この塾で、希少な体験を沢山経験できたと思います。塾に行く前と行った後で顔つきが変わったように見えました。またこのような機会がありましたら、参加させたいと思います。ありがとうございました。
- この塾は毎回、県内からとても優秀な子どもたちが集まってくるようで、本人にとって、そのような場に身を置くことはとても良い刺激になったと思います。この塾を一過性の経験に終わらせない為にも、またせっかく優秀な人材が関わり合ったことを子供達の今後の人生や、地域や国の活性化に活かす為にも、成人した後に同窓会的な再会の機会を作ってはどうかと思います。このような機会を作っていただきありがとうございました。
- 去年の経験を活かしながら新しい仲間と協力する体験ができて、本当に良かったと思っています。部屋班長をさせていただいたことでも、少し自信と責任感が出てきたと思っています。
- 自分との比較対象が、クラスメートから創造塾の子達へと変わったように見受けられます。驚くような発想をする子が多かった、すごい特技の子がいたと、嬉しそうに話していました。視野が広がり、今まで以上にたくさんの方にチャレンジしてくれることを期待しています。
- ふだんは人に対しては引っ込み思案で、友達をつくるのも決して得意ではない方だったと思います。しかしこのキャンプを通して、青森中にたくさんのお友達ができたようです。そしてそのことを楽しそうに話す様子を見て、参加させて良かったと思いました。

保護者の感想②（事後アンケートより一部抜粋）

■向かう時の息子と帰ってきた時の息子の印象が違って、たくましい顔で終えたように思います。たくさん体験したプログラムでは、一つ一つが印象に残ったようで、レポートにはまとめきれない感想を聞かせてくれました。

■カリキュラムについても大変面白い切り口で良かったですが、せっかく川口塾長がいらっしゃるのに、紙飛行機よりも少し踏み込んだ科学的アプローチが欲しかったです。

■参加した本人は日頃おとなしくて、あまり自ら進んで発言したり、交流の輪に加わったりできないのではないかと心配しましたが、最終日の笑顔に、その心配が払拭されました。県内各地から集まった仲間達と共に学び、交流し合った四日間はとても充実して楽しかったようでした。

■普段の生活ではなかなかできない経験ができてよかったです。特に、学校では正解の無いものに対して仲間と一緒に考えを深めることがほとんど無いようなので、今回この塾で他の人からの様々な意見に触れて普段より深く考えることによって、一回り成長できたように感じました。川口塾長の講話や仲間との生活からも、今後に活かせることを多く学んだ機会でした。